

[Comprehensive Education]

特色ある教育

豊かな人間形成をめざして



キリスト教教育 真実を求める心を培い、神や人生について深く考える力を育てる。

Christianity-based Education

キリスト教教育は、米国メソジスト教会の宣教師によって建てられたこの学校の教育の根幹を成すものです。生徒たちがキリストの愛に触れ、自己の生き方を見つめ、社会に貢献する若者として巣立ってくれることを願っています。

毎日の礼拝

全校生徒と教職員がともに講堂に集い、聖書の御言葉（みことば）を通して自らを振り返る毎日の礼拝は、この学校が最も大切にしている時間です。

週一回、各クラスで行われるホームルーム礼拝では、生徒が司会、話、演奏等を担当します。



▲全校礼拝

週一回の聖書の授業

青山学院の教育の土台は聖書の御言葉です。その御言葉を学ぶ時間が、「聖書」の授業です。この授業では、その聖書を手に取り、自分自身について、また隣人について考え、神とわたしたちとの生きた関係について学びます。



▲ホームルーム礼拝

キリスト教に触れるさまざまな行事

夏休みのグリーンキャンプ、冬休みのホワイトキャンプは、大自然の中で仲間との親睦を深め、聖書を学び、神様や人生について考える機会です。また、クリスマスやイースター、特別礼拝などを通して、キリスト教に深く触れていきます。



▲グリーンキャンプ（高等部追分寮にて）



国際交流

International Exchange

国や文化の違いを超えて、他者を理解することのできる人間を育てる。

本校の国際交流が目指すものは、「価値観の多様性（diversity）の共有」です。これは、世界中の人々が「愛と平和」のうちに互いを認め合い、共に生きるというイエスキリストの教えに根ざしたものです。本校はその思想を实践し、グローバル化の時代に対応できる人間の育成に励んでいます。

学校間交流

英国の名門パブリックスクールであるリーススクール、ルネサンスの文化を色濃く残すイタリア・ミラノ郊外のサロンノ市にあるレニャーニ校との間で、それぞれ数名の生徒による短期交換留学を実施しています。



▲イタリア・レニャーニ校との交換留学

カナダ・ホームステイ

夏休みに2週間、約30名でトロント市近郊のベリー市を訪れます。地域の施設（老人ホーム・YMCA等）の訪問、チャリティー活動、ナイアガラの滝見学、大リーグ観戦、カヌー体験など様々なイベントが用意され、異文化や大自然を体感できるだけでなく、英語力を試す格好の機会となっています。



▲カナダホームステイ

長期海外留学

各種留学斡旋機関を通して1年間の留学をする生徒が年間15～20名程度、各学年にわたって存在します。帰国後に同じ学年に復学する第一種留学と、年下の学年に復学する第二種留学の制度があります。

帰国生教育

本校は1970年代から、毎年一定数の帰国生を受け入れてきました。帰国生は普通のクラスに入り、異文化の体験者として周囲に影響を与えます。一方、帰国生が円滑に学校生活に順応できるよう、国際交流委員会の教員が「アドバイザー」となって、学校生活や学習の問題の相談に個別に応じる体制を整えています。

長期留学生受け入れ

毎年数名の海外からの長期留学生を引き受けています。留学生はホームルームに所属してクラスメイトと共に授業に出席し、学校行事に参加するなかで、国際理解の重要な役割を担っています。



▲多くの生徒が参加したインターナショナル・スウィーツフェスティバル



「平和・共生」への取り組み

An Emphasis on Peaceful Coexistence

人を愛し人に奉仕し、世界の平和に貢献できる人間を育てる。

「助けを必要とする人の隣人となる」という聖書の教えを実践的に捉え、大きな学びとすることを期待して、「平和」や「共生」をテーマとしたさまざまなプログラムを実施しています。

■ 修学旅行を中心とした平和学習と研究論文の執筆

本校の修学旅行は、2年生の11月に九州を訪れます。熊本城、阿蘇山、軍艦島、九十九島めぐりなど各クラスで決めた見学地を訪れ、歴史や自然を学びます。長崎では原爆資料館を見学し、被爆者の方々の体験談を直接伺って、平和について深く考える機会をもちます。さらに、修学旅行の事前・事後学習の域を越えて、3年間かけて様々な教科の中で「平和・共生」



▲被爆者のお話を聞く

学習を実施しています。2年次から3年次にかけては、生徒一人ひとりが「平和・共生」に関連するテーマを定めて研究論文を執筆することで、学びの集大成とします。

■ 青山学院フィリピン訪問プログラム

フィリピン訪問プログラムは、青山学院の初等部から大学までの共同プログラムで、高等部からは、毎年希望生徒数名が参加します。CFJ（チャイルド・ファンド・ジャパン）の協力のもと、支援先の子



▲フィリピン訪問

どもたちを訪ねてその生活に触れ、あたたかい交流をもつことによって、世界が抱える貧困の問題について知識だけでなく心の繋がりをもち理解することを目的としています。

■ 岩手県宮古市の高校との交流

被災地宮古の皆さんへの「復興への励まし」につながることで、また本校の生徒たちが「助けを必要とする人の隣人となる」という聖書の教えを実践的に学ぶことを期待して始めた宮古の高校との交流も、10年目を迎えました。これまでに運動部の親善試合、文化祭でのチャリティグッズ販売、本校生徒会執行部の先方の学校訪問など、交流を重ねています。



▲宮古市訪問

■ 東ティモールスタディツアー

生徒自主学习団体BLUE PECOがフェアトレードを通して支援している東ティモールのコーヒー生産農家を訪問し、その生活に密着するフィールドワークを行います。グローバルな経済格差の問題とフェアトレードのあり方について研究し、貧困地域の諸課題を地域の人々とともに解決していく手法や資質を養います。



▲東ティモールスタディツアー

Log Book

「過去を見つめる」「現在を知る」「未来を描く」という共通テーマの下、様々な教科を横断した総合的な平和・共生学習の記録ノート（学習ノート）である「Log Book」を制作し、生徒一人ひとりが平和の実現者となるべく、学習活動を行っています。

▲3年間かけて取り組む「平和・共生 Log Book」



▲国際政治学科の学生がつかむ国際社会：キューバ危機とシリア内戦を素材として（2019年度 国際政治経済学部国際政治学科講座）

■ 学問入門講座

本校では、土曜日の午前中に「学問入門講座」を実施しています。青山学院の大学・専門職大学院の教員が、それぞれの専門分野について高校生にわかりやすく講義するもので、大学の教室を使って、年10回、各回平均3講座、年間で約30講座程度が開講されます。生徒は自分の関心のある講座を自由に選び、2時間の充実した学びの時間を過ごします。大学での学問研究の面白さ、奥深さに触れることができ、卒業後の進路選択にも役立つという感想が多く聞かれます。



▲中世日本の宗教美術における「オリジナル」と「コピー」をめぐって（2019年度文学部比較芸術学科講座）

▲人に役立つ情報システムのつくりかた（2019年度社会情報学部講座）

■ 3年生による大学授業の履修

2015年4月より、3年生の希望者が放課後に青山キャンパスの大学の授業を履修して、内部進学した際にその単位が認められるという制度を開始しました。大学生と一緒に授業を受けることは、高等部生にとって、現在実施されている「学問入門講座」とはまた違った意味で、知的探究心の向上につながると期待しています。

■ 国際理解・留学準備プログラム

早い時期から海外への関心を高めてグローバル感覚を養うことを目的として、大学国際交流センターと共催で以下の3つの特別講座を設けています。

- 海外体験の魅力やグローバル化への対応等の講義を含む「総合オリエンテーション」
- 海外留学の際に必要なとされる英語検定「IELTS（アイエルツ）」の対策講座
- 大使館担当者が、自国文化の紹介や日本との繋がりなどを英語で講義する「大使館講義シリーズ」



▲大使館講義（フィリピン）の様子

大学との連携

University Connections

総合的判断力、洞察力をもち、自分の人生の進路を切り拓く力を育てる。

同じ敷地内に大学のほとんどの学部があるという恵まれた環境を活かし、大学との連携を深め、一貫教育のさらなる良き実りを得ることをめざします。

2020年度 学問入門講座テーマ

学部	学科	講義テーマ
文学部	英文文	● 普段意識していないことばのルールを意識してみよう!
	フランス文	● 日常言語の中に潜む論理について
	日本文	● 人形浄瑠璃における日本と外国の表象
	史学	● 中国の宋代について
	比較芸術	● 演劇の面白さはどこから生まれてくるのか
教育人間科学部	教育	● 特別支援教育—インクルーシブ教育への展開—
経済学部	経済	● 統計データ分析手法を用いて日本の景気循環を眺めてみよう
	現代経済デザイン	● 経済学とエビデンス
法学部		● グローバルな法の仕組 —法律と裁判は国境を越えて旅をする—
		● 法は「正義」の味方なの？—あなたは、法を味方にできる？—
経営学部		● ハンバーガーで考える企業の戦略と組織： 100円のハンバーガーは儲かるのか？
		● 会計学入門 —会計制度を知り、会社の決算書を見てみよう—
国際政治経済学部	国際政治	● 核兵器を裁判する
	国際経済	● 国際経済と金融政策
	国際コミュニケーション	● 日本人が世界を発見する ～ロシア文学を中心に～
総合文化政策学部		● 現代の生活文化として学ぶ都市建築領域の基礎
		● 生命とは何か？ —動的平衡の視点から—
		● カナダ研究と私—音楽×文学×メディア
理工学部	化学・生命科	● レアアースと化学と私たちの生活
	機械創造工	● 最先端技術における熱科学 —医療から宇宙まで—
	情報テクノロジー	● 数学と物理とプログラムで映像を作るコンピューターグラフィックスの世界
社会情報学部		● 人に役立つ情報システムのつくりかた
		● 私たちは社会をつくり、社会の中で生きている—人間の社会性を科学的に理解しよう
		● 社会をくモデル>で見る～社会学入門～
地球社会共生学部		● 「日本という場所に住む覚悟はありますか？」
コミュニティ人間科学部		● 国際舞台で活躍するビジネスと人材
		● ヒトはモノを正しく見ていない!? —認知心理学入門—
法務研究科		● 「スポーツ×地域活性化」の未来 —スポーツとまちづくりのいい関係—
国際マネジメント研究科		● 法律家による社会へのアプローチ —同性婚とLGBT支援を題材に—
国際マネジメント研究科		● 青山学 —青山から考える地域活性化のマーケティング
会計プロフェッション研究科		● 会計って何だ？ なぜ会計は必要なのか？ 会計に関する職業とは？
キリスト教関連科目		● メソジスト教育運動と青山学院の教育方針